

知床の森から



知床森林センター広報誌

平成22年3月 第124号

北海道森林管理局 知床森林センター

〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)

電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



■写真:知床連山を撮る参加者

第98回 森林レクリエーションin知床

森林散策をしながら知床を撮ろう ～フレペの滝周辺～

3月6日(土)に第98回森林レクリエーションin知床「森林散策をしながら知床を撮ろう～フレペの滝周辺～」を開催しました。普段なかなか行く機会のない冬の森林をかんじきで歩く体験ができること、またデジタルカメラの初心者を対象に講習があることから、定員を超える応募がありました。参加者は、北見市、網走市にお住まいの20～70代の男女20名でした。

散策前に、地元アマチュアカメラマンによる「冬の風景写真を撮るに当たってのポイント」について学び、その後フレペの滝周辺の森林に移動し、センター職員による自然解説と講師による撮影アドバイスを行いました。

自然解説では、トドマツの幹に残るヒグマの爪痕、クマガラなどのキツツキ類によって幹に大小様々な大きさの穴があいた樹木、エゾシカに樹皮を食べられた樹木などを間近で観察しました。撮影アドバイスでは、雪山の撮り方、青空と樹木の撮り方、影を使った撮り方などを学び、参加者の中には雪の上に寝ころんで撮影する方もいました。

午後からは、散策で撮った写真を1人1枚印刷し、タイトルを付け、額に入れて飾り、鑑賞会を行いました。写真の出来栄が良くお気に入りの1枚を選ぶのに悩む方や、タイトルを付けるのが難しいとおっしゃる方もいましたが、皆さん笑顔で楽しんでいらっしゃいました。

参加者が撮影した写真は、知床ボランティア活動施設にて展示しています。



参加者作品
「カミナリ木」



冬ならではの！ 静寂の森を歩くスキーで散策しよう



①



②



③



④

2月10日(水)、第97回森林レクリエーションin知床「冬ならではの！静寂の森を歩くスキーで散策しよう」を開催し、北見・網走や斜里町などから16名の方に参加いただきました。

このイベントは、知床の森を歩くスキーで散策し、春を待つ樹木の姿や雪面に残る野生動物の痕跡等を観察しながら、冬の森林の魅力に触れて頂こうと企画したものです。コース延長は約5kmで、ウトロ高原イチイの森よりオシンコシン展望台下に至る町道周辺の国有林を利用しました。このエリアは遺産区域からは外れますが、樹種も豊富で大木も多く、知床の原始的な森林を体感することのできるコースです。

はじめに、イチイの林木遺伝資源保存林で、エゾシカによる樹皮や稚樹などの食害の状況や、それを防止する為の防鹿柵、ネット巻きについて観察しました。途中、樹齢数百年にもなるミズナラの大木や、クマゲラ、アカゲラなどの食痕で跡だらけになりながらも力強く生きるニレ、トドマツの倒木更新などを観察し、知床の森林の生命力を感じながらの散策となりました。また、コース上ではキタキツネ、エゾリス、エゾクロテンなどの足跡や、ゴジュウカラやカケスといった野鳥も発見しました。

参加者からは「普段行くことのできないところにいけて良かった」「森林のすばらしさを実感した」などの感想が聞かれ、葉の茂る時期とは違った森林の一面に触れて頂き皆さん大変満足された様子でした。

①オシンコシン展望台にて記念撮影：散策のゴール地点で記念撮影。皆さん充実感ある笑顔です！ ②森林散策の様子：途中二つの沢を渡りながらの散策に、初心者から上級者までそれぞれのペースで歩くスキーでの散策を楽しみました。 ③森林観察の様子：樹木や野生動物に関する解説や発見があり、知床の自然を学習しました。 ④イベントの冊子：各イベントごとに散策のポイントなどをまとめた冊子を作り配布しています。この冊子をコレクションしている方もいらっしゃるようです。

斜里・子ども芸術フェスティバルに参加しました

木 工作



2月21日～2月28日にかけて、斜里町ゆめホールで子ども芸術フェスティバル(斜里・子ども芸術フェスティバル実行委員会主催)が開催されました。知床森林センターは、2月27日(土)にゆめホール内の実習室にて木のワークショップを行いました。このワークショップには、親子約15名が参加して、「きしゃ」「じどうしゃ」「ひこうき」といった木のおもちゃを作りました。



見本や完成図を見ながら悩んでいたりと、次々に部品を繋げていったりと、みんな自分のおもちゃを作ることに夢中な様子がみられました。また、ドングリや枝を使った飾り付けや、色塗りではそれぞれの個性が出ていました。中には、2個のドングリの殻斗がくっついているものを見せて、汽車の煙突に乗せるとラップのように見えることを、嬉しそうに教えてくれる子もいました。同じ「きしゃ」でも、一つとして同じ作品がないことは、手作りならではの良さだと思いました。

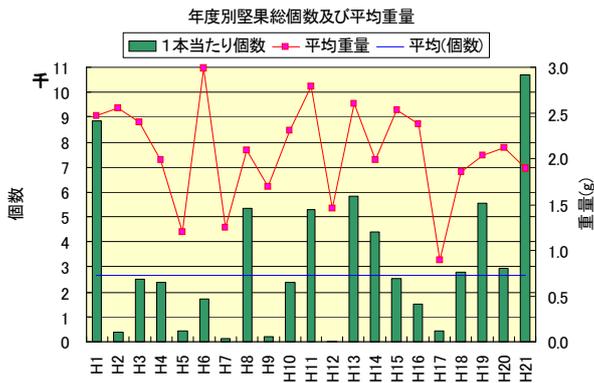
知床の森林の様子を見てみよう 森林づくりに関する基礎調査 2009

知床が有する価値として「生態系」「生物多様性」があります。その主要な舞台となる森林で、植物生産活動の動態や野生動物との関わりなどについて基礎的な調査を行っています。

平成21年度に知床森林センターで行った各種調査を報告します。

ミズナラ堅果結実調査

ミズナラ堅果結実調査はドングリを一つ一つ数え、重さと長さを測るのですが、今年度は例年を大きく上回り、一本当たり10,686個と近年まれに見る豊作となっています。



立派なドングリ



野生動物自動撮影調査

エゾシカによる食害実態や野生動物の生息を観察するため、森林内に赤外線センサーによる自動撮影カメラを設置しています。これにより、短期間（10日程）でエゾシカが樹幹周囲の樹皮を食べ尽くしてしまう状況がわかりました。（↓同じキハダを定点撮影したもの）



森林の中にはエゾモモンガやエゾクロテンの姿も。

コドラート法による植生食圧調査

コドラート調査は毎月定点撮影をし、植生の変化を観察しています。柵内と柵外では年々違いがはっきりとしてきており、柵内はエゾシカの影響を受けず笹が著しく成長しています。冬は積雪深調査も行っています。今年は平均的な積雪で、柵内の最大積雪深は66cmでした。



これらの調査結果については、ホームページやボランティア活動施設に掲載していきますのでご覧下さい。

平成21年度 北の国・森林づくり技術交流発表会

「知床におけるエゾシカ食害の現状と地域と連携した森林保護活動の取組について」



平成21年度北の国・森林づくり技術交流発表会が北海道森林管理局で1月28日～29日に開催され、全道各地の代表者から各部門計36件、特別発表4件の発表がありました。当センターからは「知床におけるエゾシカ食害の現状と地域と連携した森林保護活動の取組について」というテーマで発表を行いました。

発表内容は、センターで行っている各種調査からエゾシカの食害状況を説明、その食害の現状を学習・保護をすることを通じて森林環境との共生を考えることを目的に開催したイベントやボランティア活動などを紹介し、アンケートの結果から今後の課題と対策について報告しました。また、1F ウッディーホールではパネル展が開催され、センターは発表内容に合わせた活動の紹介等を展示しました。

今後も、今回の検討結果をもとに、国民参加の森林保護活動を発展させ取り組んでいきたいと考えています。



知床 は今

3月も半ばを過ぎ、まだまだ寒い日もありますが、「もうすぐ春かな～」と思わせるような暖かい日も増えてきました。

森林センターでは、3月から新しく「知床の今」を皆様にご覧いただける「知床ライブカメラ」を設置しました。一台は、ウトロの入口から知床連山、もう一つは知床八景の一つである夕陽台からオホーツク海に沈む夕陽などがご覧いただけます。

右の写真は、いずれも3月中旬のライブカメラの映像です。この景色が、これから春になると雪がとけて新緑の山々、夏にはオホーツク海へ沈む真っ赤な夕陽、秋には紅葉の山々、そして冬には流氷のオホーツク海など四季それぞれの知床の様子を私たちが知床のこの場所で見ているのと同じタイミングで観ることができます。

また、森林センターブログ「知床の四季」でも旬な知床の情報をお届けしていますので、是非、知床森林センターのHPを「お気に入り」に登録して、日々移り変わる知床の様子をご覧ください。



ボランティア施設から

知床ボランティア活動施設では、来館者の皆様により一層、森林・林業・木材に触れ・学び・親しんでいただくため、木工作体験コーナーをリニューアルしました。

写真の棚は道東地区のカラマツ集成材をふんだんに使用して作ったものです。また、オガクズで滑りやすかった床も滑りにくい素材に替えました。

木材をふんだんに使用したことで、木工作体験コーナーが、明るく・温もりを感じるようになり、木材の良さを再認識しました。

知床ボランティア活動施設は、森林・林業・木材利用の発信基地として、来館者の皆様に「環境に優しい木材」の理解と関心を深めていきたいと思いをします。



新人紹介

2月1日付けの新規採用で赴任しました、金森千沙です。出身は神奈川県川崎市です。道東に来たのは初めてなので、関東との違いに驚きましたが、知床ならではの景色を見ることができてとても嬉しいです。まだ分からないことも多いので、自分自身も勉強しながら、皆さんにも知床の自然を知り楽しんでいただけるよう努めていきたいと思いをします。よろしくお願いします。



☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。